

3 月 号

発行所
熊本県 大津町
大津町 中央公民館

印刷 大津 坂本印刷所

広 報

おおつまち

No.204 昭和43年3月発行 毎月1回発行

人口の動き

出生	17
死亡	16
転入	48
転出	133
転入超過	4,453
転出超過	20,008
世帯	9,513
人口	10,495



火の点けん

昭和43年度

春の全国火災予防運動

春は空気が乾燥して大火りなりやすい季節です 特に家庭器具(油 電気 ガス)の取扱に充分注意しましょう

- 1、寝る前に火の点けん
- 2、タバコの投げすて 寝タバコの防止

早春



三月はおひなさまの季節であり、やわらかい早春の日ざしと、土のにおいに親しみをかんじるころでもあります。「もう春です」と人びとのあいさつの中にも、春をこう心情があらわれます。

自然界のかわらない移りかわりをよそに、受験ブーム交通戦争とその国際情勢もあわただし。昨今で、ますますきびしさをましています。

考えただけでも住みにくい世の中で、地道に学習をしていてもまどろっこしい、何になるのかという焦燥感をもつこともしばしばありますが

農村の都市化、都市の進化に、人間がおいてきぼりにされないよう、人間復活をこころみながら地道な生活計画をたてていきたいものと思います。(NHKだより)

2……巻頭

3~4 ……昭和43年度大津町予算案のあらまし

5 ……春の清掃旬間 守ってくださいかわい子供を 国民健康保険

6 ……善意 中学校卒業就職奨励会 交通安全今月のポイント 波佐見陶器市団体募集

7 ……踏切事故防止強化月間 緑の羽根募金 交通災害共済制度賛否アンケート結果

選挙人名簿の縦覧 推茸及び平茸菌の幹旋

8 ……明治100年記念の植樹 稚魚七万匹放流 青年団便り 婦人学級だより 新中卒児の進路

昭和43年度大津町予算案のあらまし



昭和四十三年度予算は、三月十一日招集の定例町議会に提案しますが、その大綱を公表します。
一般会計の予算案の総額は三億八千四百九十一万円で前年度当初予算に対し三千六百八十五万円の増加となっております。

国の予算との関連を考慮し、財政硬直化に対処するため各種の負担金及び需用費等の消費的経費の節減に努めることとし、投資的経費については道路の整備事業、農業構造改善事業、水資源開発、商工振興助成等を重点事業として予算の編成を行ったが歳入歳出予算のあらまきは次のとおりであります。

歳入

一町税 町税は町民税、固定資産税の直接税で約四百三十二万円、電気ガス税及びタバコ消費税等の間接税で四百三十三万円の自然増加を見込み徴収率を九十七%以上に引上げ税収の確保に努めることとした。税収総額は八千六十九万円で予算総額に対する割合は約二十一%になる。

二地方交付税 地方交付税は前年度実績を基礎に本年度政府予算の伸び率を考慮に入れ一億二千万円を計上した。これは予算総額に対し三十一%となる

三使用料手数料 町営住宅の使用料七百二十万円、幼稚園、保育園等の使用料、その他の手数料を三百八十六万円合計一千零六万円となる。

四国庫補助金 建設的事業費に対する補助金として、農業構造改善費補助金一千七百九十五万円、町営住宅建設費補助金九百八十八万円、国土調査補助金四百七十七万円、若草学園運営費一千三百七十一万円、老人ホーム

とし、庁舎建設費四千三百五十八万円、交通災害共済実施準備費十七万円、交通安全施設整備四十三万円を計上した。

二衛生費

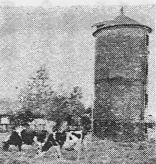
一衛生費 菊陽町内に建設した大津町外四ヶ村し尿処理組合運営費三百四十四万円、伝染病予防費四百三十六万円その他蚊や蠅の防除対策として商店街測溝排土費三十三万円、家庭消毒の害虫駆除補助

金八十八万円、野犬捕獲機販売費十万円等を計上伝染病予防に努力することとした。

三農林水産業費

(一)農業構造改善事業費 一千九百三十三万円を計上初年度の改善事業として北部地区畜産振興の推進を図ることとした。

(二)農業



振興と

千害対策のため水資源開発を計画し、百

歳出

一総務費 前年度で役場庁舎建設費を計上したが敷地が決定しなかったため着工しなかった。昭和四十三年度から二ヶ年継続で新築すること

一建設費 一、七十七万円、保育園運営費平川一子保育園を含む五百八十八万円等が主なものである。

五町債その他 役場庁舎建設費一千五百万円、町営住宅債五百五十万円、町有林造林債三百五十万円、プール建設債百五十万円、町民税臨時減税補てん債四十万円、積立金繰入二千七百五十万円、前年度繰越金一千三百万円を計上した。



43年一般会計予算案款別前年度当初予算比較表

歳入 (単位千円)			
	本年度	前年度	比較
1. 町税	80.686	72.037	8.649
2. 地方交付金	120.000	98.000	22.000
3. 地方負担金	3.345	2.048	1.297
4. 手数料	11.061	10.040	1.021
5. 国庫支出金	30.922	33.134	▲ 2.212
6. 県支出金	59.239	32.093	27.146
7. 財産収入	3.274	22.204	▲ 18.930
8. 寄附金	1.550	1.250	300
9. 繰入金	27.500	10.000	17.500
10. 繰越金	13.000	14.000	▲ 1.000
11. 諸収入	4.694	5.111	▲ 417
12. 町債	29.600	48.100	▲ 18.500
歳入合計	384.911	348.057	36.854
歳出			
	本年度	前年度	比較
1. 議会費	10.168	9.008	1.160
2. 総務費	102.334	79.625	22.709
3. 民生費	43.920	41.187	2.733
4. 衛生費	13.746	16.188	▲ 2.442
5. 労働費	320	311	9
6. 農林産業費	59.462	31.866	27.596
7. 商工費	4.126	2.570	1.556
8. 土木費	43.132	44.112	▲ 980
9. 消防費	7.508	6.263	1.245
10. 教育費	62.724	81.682	▲ 18.958
11. 災害復旧費	4.251	2.161	2.090
12. 公債費	26.867	24.544	2.323
13. 諸支出金	0	2.000	▲ 2.000
14. 予備金	6.353	6.540	▲ 187
歳出合計	384.911	348.057	36.854

(3) 商工業者の仕入調査、商工診断等を
含む商工会助成金百十五万円、商
工青年会議所助成金十五万円、つ

年目になり商店街の近代化に努力し
ているが工場の機械設備もこの条例
を適用することとし今年度から利子
補給の対象となる融資額の限度を百
万円に引上げることとし百三十万円
を計上した。



振興を図ることとした。

四 商工費

(1) 店舗改
装利子補
給条例を
制定して
から三ヶ

国民健康保険特別会計

事業勘定予算総額は一億二千十二万
五千円で前年度に比較し一千四百八
十五万六千円の増加となる。

保険税は前年度一世帯平均一万五千
円であったが医療費単価の引上げそ
の他医療費の自然増加等を見込んで
一万二千五百円に引上げた。これに
よつて六百三十一万円の増加となる
税引上げ理由は医療費が前年度より
一千三百七十万円の増加となること
が主たる理由である。

(減) 災を保障給付の対象とするよう
町民の一部から要望があつたが保険
税の負担があまり重くなるので見合

十五万円の直営ボーリング費及びボ
ーリング実施団体助成百万円を計上
した。

(3) 産業振興の基盤をなす産業道路整
備のため農道新設改良費三百九十九
万円を計上した。

(4) 継続事業の国土調査費六百四十
三万円を計上し吹田、大林、錦野地区
を実施することとした。

(5) その他資産振興費百八十万円、合
併農協育成費百六十四万円、航空防
除費六十万円、町有林新植及び手入
れ費五百万円等を計上して農林業の
振興を図ることとした。

じ祭四十万円、公園整備調査費七十
六万円を計上し商工業の振興を図る
こととした。

五 土木費

道路新設改良費一千四百
十三万円を計上、町道の整備、県道
改良舗装に対する地元負担等を行い
道路橋梁の整備改善に努力すること
とした。特に町県道の舗装に努める

六 教育費

矢護川小学校プール建設
費三百四十四万円、中学一年生四百
六十一人分の机、椅子新調費百三十
八万円、杉木公民館新築費二百五十
万円、その他公民館部活館の改修補
助、大津文化史発行費等を計上した

せることとした)

水道特別会計



水道特別会計は公営企業法の適用を
受け予算の様式等が変ることとなる
が、当該年度収入は一千五百四十八
万円で支出は配水設備の増設、改良
費三百八十八万円、メーター器購入
取替え費百六十四万円、起債の元利償
還金三百六十二万円等が主なるもの
であり水道料金は前年度並額である
ブルトーザ特別会計 現在のブルド

ザは購入してから五年を経過する
こととなつたのでこれを新車と買替
えることとしたため予算総額は六百
九十八万円で購入費四百六十万円が
主となる。

尚ブルトーザ会計は現在の料金では
運営が困難であるため混雑耕一〇ア
ル当り二千三百円を二千五百円に農
作業一アワメータ当り二千八百円を
二千九百円にその他一アワメータ二
千九百円を三千円に引上げることと
した。

(これは県の料金と同額である)

善意



オギヤール献金

老人ホーム慰問

社協一般寄附金

志万円 西岡 要殿 杉木

志万円 亡父伍平殿の香典返し

志万円 伊原小一殿 御願所

志万円 亡妻ハジメ殿の香典返し

志万円 阿部弘正殿 錦野

志万円 亡父永喜殿の香典返し

志万円 堀内研一殿 下陣内

志万円 亡母タケ殿の香典返し

志万円 野田清信殿 中陣内

志万円 亡母ハル殿の香典返し

志万円 徳永龍雄殿 鶴口

志万円 亡妻ミズエ殿の香典返し

志万円 赤星ヨシエ殿 大津町老人ホーム内

志万円 亡姉吉田スナ殿の香典返し

志万円 古庄玲子殿 室

志万円 亡夫賢二殿の香典返し

志万円 宮崎久子殿 中陣内

志万円 拾得金期限満了につき

志万円 西村孝三殿 原口

志万円 拾得金期限満了につき

志万円 糸水一殿 新村

志万円 妻ミツエ殿香典返し

五百円 今村寛弘殿 灰塚
二百円 大塚勝也殿 室
千円 山下孝利殿 新村
五百円 村上聖二殿 下町
千円 長田義彦殿 引水
五百円 山下知則殿 新村
二百円 松永行弘殿 下陣内
五百円 田上誠一殿 矢護川
五百円 芹川善博殿 上猿渡

善意銀行

預託 物品口座

- (1) 森子とも会より古ハガキ三四一枚を前学校点字練習用として
- (2) 日吉神社坂本雄雄殿より御守護七二体
- (3) 本町藤本スミエ殿より豚肉、野菜多量
- (4) 白米十八匁合志武一、宮崎太七、田呂九郎、岩村増治、吉田政治、大田鉄治殿

物品口座

坂本雄雄殿預託御守護七二体、藤本スミエ殿預託豚肉、野菜、合志武一殿外五名預託白米十八匁は二月二十四日中学校卒業就職奨励会会として払出

大塚トシ子、藤本スミエ、山辺菊、後藤とみ、水野ミツエ、豊岡サイ子、宇野ミツ子殿七名は中学校卒業就職奨励会の接待役として奉仕された

三十一日岩坂婦人会会長矢野さかえ様 外二〇名菓子三三〇〇。演芸
二日徳川婦人会会長松さきミエ様外十五名菓子一〇〇〇。演芸
二日室山本洋子様菓子一三〇〇
十一日矢護川原口子供会モチ一三三〇二〇〇。ミカン一〇〇〇
十八日室旭ヶ丘住宅石藤ルリ様ミカン一〇〇
二十日杉木田中玲児様一金五百円
二十一日佐賀市諸富町諸富町長様菓子二〇

中学校卒業就職奨励会

大津町社会福祉協議会では二月二十四日午後一時より中央公民館において大津中学校、菊岡中学校、若草学園の本年度卒業後就職する児童七十二名の健康と今後の活躍を期待して激励会を開催した。開会に先立ち女子民生委員、婦人会役員の心尽しによる温い昼食に満腹した。

日吉神社坂本宮司の修被、御守護の下賜、坂本会長(代理)赤星助役、橋本教育長、石原社会教育委員より社会人としての覚悟、社会人として進むべき道など夫々激励の詞あり記念品、お祝物を戴き、代表者から御礼を述べた後笠原副会長の音頭により万歳を三唱して散会した。

因に参加児童六十名、来賓三十名、夜来の降雪のため産安バス菊池線不通となり真木、矢護川方面児童の参加ができなかったことは残念であった。

波佐見陶器市団体募集

とき 四月二日 七時四十分発
とぎ 二十一時二十分着の予定
団費 約二二〇円
募集人員 五十名
申込は 大津駅 電話59



交通安全今月のポイント

飲ませないのがほんとうの親切です

花見のシーズンです。花見に酒はつきものチヨット一ぱいぐらい……これが事故のもとになるのです。車を運転する人は酒を飲んだら決してハンドルを握らないこと。また車を運転する人には絶体酒をすすめないでください。

踏切事故の防止

策として路切警報機、自動止り断機等保安設備の整備を図りつつ鋭意努力していますが路切上での列車支障は年々増加の傾向にあります。なかでも自動車類の警報無視やし断機突破等の無謀運転、それに落輪、エンストなどの運転の誤りに因る事故が多発しています。どうか交通法規を守り次事項を必ずお守り下さい。

(1) 踏切では必ず人も車も止つて右と左の安全を確認

(2) 陸切でエンストしたら駅に連絡するか携帯の信号煙管に火をつけて見通しのよい方にたて更らに一つに火をつけ赤旗を持って反対側に走つて下さい。とにかく列車を止めましょう

(3) 自動車には赤旗、信号えん管二つ以上を備えつけましょう。

中学通りが二月一日から自動しや断機に昇格致しました、ご不自由な面もあります。が何卒ご協力頂き身の安全を計りましょう。

肥後大津安全協会長
警察署長
〃〃
駅長

交通災害共済制度賛否アンケート結果

さきに町全世帯に対して賛否御意見を募集しました、交通災害共済制度に
な結果になりましたついては次のよう

全世帶數
四五三四

回答総世帯数 一九五一

贊成世帶數 一六九二

加入予定者数 五三四九

反对世帯数 二五九

回答率四三%のうち賛成八七%、反対一三%となっています。

募金に

ご協力を



緑の羽根

熊本県緑化推進委員会より緑の羽根が配付され、当町に四八五〇本と緑化バ
チ五八個が参りました。

本年も又町民の皆様方のご協力をお願い致します。

本年の委員会本部及び支部よりの無償苗木は、天津中小学他公共用地に記念木を配布する予定です。

又明治百年を記念して学校神社等の公共団体で禁伐林の目的で植栽希望があれば別途無償苗として申請しますのので申込んで下さい

樹種はスギ、ヒノキ、マツの三種類です。

このように回答世帯が少ないので完全な把握が出来ません。

交通災害共済を実施するにあたっては、確かな資料を必要としますので、今後は説明会等を聞いて囑託員の方々とご相談し、更に賛否の実態を把握してから決定したいと思いますので、その折はどうぞよろしくお願い致します。

選挙人名簿の縦覧

三月一日までに登録の申出をした者にあつては同月十日までに、それぞれこれらの者を大津町の選挙人名簿に登録すべき者として決定します。

これらの書を三月十一日から三月二十日までの間大津町役場において縦覧に供し、三月一日までに申出をされた者は、縦覧期間内に必らず、自分の名前が名簿に登録されているかをたしかめて下さい。尚名簿に登録すべき者の決定に関し不服があるときは、縦覧期間内に文書で当選管に異議の申し出をすることが出来ます。

三月一日までに申出をした者で今度登録される資格を有する者は、

(1)昭和四十二年十一月三十日以前から
大津町に引き続き居住する者(転入者)
(2)昭和二十三年三月二日までに生れた
者(成年者)

であり、三月一日までに申出をされた者でも十二月一日以後の転入者は本年の九月三十日に登録されることとなりますので、九月までに選挙が行なわれた場合は大津町では投票は出来ません

大津町選挙管理委員会委員長

白杵戍清

しいたけ及び平茸菌を幹旋

購入斡旋希望の方はお申込み下さい

椎茸種駒
一ケ
一円

平茸菌 一袋 時価

購入場所 大津町森林組合

明治製菓株式会社

森
産
業



明治一〇〇年記念の
植樹 陣内四地区で

このほど陣内上町神社境内に明治一〇〇年を記念して植五年生二〇〇本が植樹された。

これは上町上中下陣内地区の町議員、氏子総代、区長の発意により自から終日勤労の汗を流しながら植樹されたものである。

稚魚七万匹放流
白川漁協

白川漁協ではこのほど稚魚(鮎、ふな)七万匹を放流した。

これはシーズンにさきかけて行はれたもので最近レクリエーションとしての釣ブームでシーズン中は連日かなりの賑を呈しているが、今年は例年になく魚影も濃く、釣果が期待されている。

青年団だより

弁論、実績発表会で総合優勝

菊池郡内青年団弁論、産業実績発表会に出席した大津町青年団代表はそうつて上位入賞を遂げ、総合優勝をなした。古庄郁枝さん(平川)は「非農家青年よりみた農村青年団」についての弁論を行い二位、長田典治君(陣内)は「農村青年の心構え」として三位、同じく実績発表三位とそれぞれ入賞した。

婦人学級だより

岩板学級 三月二日

松永タツキングスクール校長の学庭料理講習のあと午後は農業改良課木戸文子先生より家庭管理について講話を聴いた。

中央婦人学級

三月八日 社会と生活コース

住友銀行南支店長より「奥様の経済学」の講話

三月十三日 子どもと教育コース

五福小渡辺校長より「現代の子の講話を聴く、三月二十二日料理実習の予定

新中卒児の進路
八七%が進学

新中卒児の進路見込調査がまとまった卒業児四六七名の中四〇四名が進学で就職は五五名、その中自営は一〇名と低く、県内、外の比は二四名対一六名と県内就職が多い。

進学の内農校一二名とかなり高い比率を占めており後継者問題も明るい。

大津の史蹟

山 伏 塚 ……大津高校庭

天正十三年島津勢と大津、帆保、合志の軍勢との激戦において戦死した彼我の戦死者を合葬し、阿蘇坊中の修驗(山伏)に乞うて修葺した墳墓であるとの伝説である。

伝記によれば高湯原、津久礼、久保田、鍛冶ノ上一帯と激戦が続き戦火のあと里人が合葬した墳墓が各地に点在していたが跡形もなく僅か残つて山伏塚云々となる。

中学卒業児進路見込調査表

男女別	卒業児 総数	進 学							就 職					修学 金貸付 希望	未定
		高 校	農 校	工 校	高 商	校 小	他 小	計	自 家	町 内	県 内	外 小	計		
男	237人	103	71	20	2	9	205	7	4	9	7	27	5	4	
女	230	111	50	0	19	19	199	3	1	15	9	28	3	6	
計	467	214	121	20	21	28	404	10	5	24	16	55	8	10	

